

食べる

駅馬車

釧網本線の止別駅旧事務室を活用したラーメンと喫茶の店。白髪ネギとチャーシューがのったツーラーメンが名物で、窓越しに釧網本線を眺めながら、ジャガイモ料理やコーヒーも味わえる。2004年公開の邦画「銀のエンゼル」ロケ地にもなった。

11時～20時

キネマ館

網走川河口に接する道の駅「流水街道網走」2階にあるフードコート。網走川やオホーツク海の風景を眺めながら地元食材を使った海鮮丼やラーメン、「網走ザンギ丼」や「あばしりちゃんぽん」、「流水カレー」などのご当地グルメ、網走地ビールを味わえる。

11時～16時30分、年末年始休館

汽車ポッポ

浜小清水駅と一体化した道の駅「はなやか小清水」内に併設の軽食・喫茶店。列車の待ち時間を利用してカレー・手づくりうどん・コーヒー・ソフトクリームなどを味わえる。

10時30分～16時30分

インフォメーション

道の駅「流水街道網走」

網走川河口に接する道の駅で、冬はオホーツク海に行く流水砕氷船「おーろら号」発着場としての役割を担う。観光案内所では宿泊予約の手配も可能。4月末から10月末まで市内観光に便利なレンタサイクルを貸出しており、電動アシスト付き折りたたみ自転車は列車内、および路線バス車内への持ち込みができる。預かり金として別途1000円が必要（利用後に返却）。自転車で網走刑務所や博物館網走監獄、網走湖畔、モヨロ貝塚、郷土博物館などをめぐってみよう。頑張れば能取岬（約1時間）や能取湖畔、小清水原生花園などに足を伸ばすことができるだろう。天都山は登り坂がきついで、路線バスを利用するとよい。電動アシスト付き折りたたみ自転車であれば小清水原生花園や天都山、女満別界隈の丘陵地帯、東藻琴の芝桜公園などへ行く場合にも使える。

9時～18時、12月31日・1月1日休館

交通アクセス

網走観光施設めぐりバス

運行ルート：道の駅「流水街道網走」（冬季のみ）＝網走バスターミナル＝モヨロ入口＝網走駅前＝刑務所前＝天都山入口＝博物館網走監獄＝オホーツク流水館＝北方民族博物館＝はな・てんと（8月～10月中旬のみ）
1日乗車券は大人800円、こども400円

流水ノロッコ号

釧網本線の網走駅と知床斜里駅の間を約1時間かけてゆっくりと走る冬季運行の観光列車（1日2往復）。2月から3月上旬まで運行されており、オホーツク海の流水を見ることができのかもしれない。

ドリーミントオホーツク号

中央バス札幌ターミナル発網走ターミナル行き、および網走ターミナル発札幌駅前行きを1日7往復運行する都市間高速バス。美幌駅前・女満別西通・網走駅前経由。所要5時間50分。夜行便あり。

網走駅

網走の観光拠点となるターミナル駅。札幌から特急約5時間30分（1日4往復）、旭川から特急約4時間・快速と普通の乗り継ぎで約5時間、釧路から普通・快速約3時間、北見から特急約50分・普通約1時間、知床斜里から普通・快速約45分。



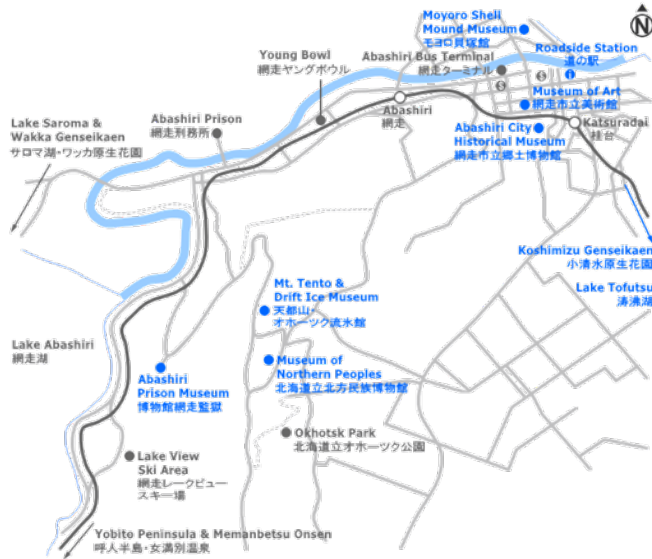
網走散策ガイド

オホーツクの文化と自然

The smart travel guide



エリアマップ



見どころ

博物館網走監獄

天都山のふもとに広がる野外博物館。明治時代に設置された網走刑務所の旧施設を移築復元した建物群と再現構築された建物群で構成されており、行刑関連の資料展示が大変充実。食堂棟では実際に囚人服を着用したり、監獄食を味わう体験ができる。

8時～18時(4月～10月)、9時～17時(11月～3月)、1080円



移築復元された赤レンガの正門



旧網走二見ヶ岡農場食堂棟

小清水原生花園

オホーツク海と涛沸湖に挟まれた約8キロ、幅約200メートル、面積275ヘクタールの細長い砂丘。北海道の代表的な原生花園のひとつで、5月から8月にかけて約40種類の野生の花々が咲く。この原生花園を訪れるなら色鮮やかな花々が咲き誇る6月下旬から7月上旬が特に良い。5月から10月まで営業する釧網本線原生花園駅下車。



涛沸湖と斜里岳

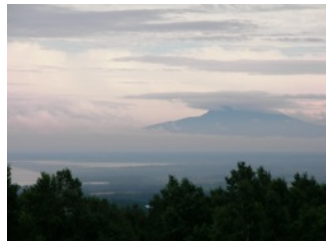


美しき野生の花

天都山・オホーツク流氷館

網走市街から程近い天都山は古くから斜里岳や涛沸湖を見渡す眺望スポットとして知られてきた。山頂に建つオホーツク流氷館(540円)では一年を通して本物の流氷に触れることができるほか、クリオネなどの海洋生物やハイビジョン映像を見ることができる。

8時～18時(4月～10月)、9時～16時30分(11月～3月)



斜里岳とオホーツク海を望む



オホーツク流氷館

モヨロ貝塚館

オホーツク文化のルーツや暮らしぶり、復元住居、貝塚からの出土品を映像や実物展示で詳しく紹介。大規模な貝塚復元の断面、モヨロ人の特徴的な埋葬方式を垣間見ることができる墓域展示室も見ごたえがある。

9時～17時(4月～10月は16時まで)、7月～9月を除く月曜・祝日休館、300円



貝塚館外観



竪穴式住居跡

北海道立北方民族博物館

日本で唯一、北方民族の文化をテーマとしている博物館。アイヌやイヌイット、コリヤークなど、北方圏の人々の文化などを紹介している。

9時30分～16時30分(6月～9月は9時～17時、7月～9月を除く月曜休館(祝日の場合は翌日)、550円

網走市郷土博物館

1936年に「北見郷土館」として開館した北海道で最も歴史のある博物館のひとつ。アイヌ文化やオホーツク文化に関する資料や生活道具などを展示。建築設計は田上義也氏。

9時～17時(11月～4月は16時まで)、月曜・祝日・年末年始休館、120円

網走市立美術館

市内中心街にある公設美術館。網走出身の芸術家・居串佳一(いぐしかいち)氏の作品を中心に展示しており、市民の創作発表も行われている。

9時～16時(11月～4月は16時まで)、月曜・祝日・年末年始休館、120円

涛沸湖

網走市北浜から小清水町浜小清水までのオホーツク海沿いに広がる湖。10月中旬～1月中旬、3月下旬～5月中旬にオオハクチョウが飛来する湖として知られている。2005年にはラムサール条約登録湿地に指定された。釧網本線北浜駅から徒歩10分。